

# 支援する会ニュース

2022. 4. 28 NO. 79

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会  
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会  
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階  
中小労組政策ネットワーク気付  
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

## サンケン電気は、労組潰しの民族差別会社だ！！

4月21日に第78回木曜行動がのべ90人余の参加で行われました。サンケン電気のホームページによると、2020年3月にニジェス㈱にLED灯具生産を譲渡したことがわかりました。韓国サンケンの廃業を告示したのは同年7月ですが、事前に組合との話し合いはありませんでした。国内では話し合いのうえ雇用保障したとの較べて明らかな民族差別です。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムミョンヒさんが「季節は春だが私たちの心は寒風吹きすさぶ冬の中にあり、カチカチに凍っている。私たち

も暖かい春を満喫できるように、和田会長！合意を守ってください。私たちがどんなに働いたか、よくご存じでしょう！工場が再開すれば、私たちは誰よりも一生懸命働くだらう。サンケン電気が約束を守る企業であるという姿勢をしっかりと示してください。和田会長、私たちがソウルでテント闘争するのでなく、ほかの労働者と同じように平凡な生活を送れるように、工場を再開してください」と訴えました。韓国からはキムヒョンガンさんとキムウニョンさんもアピール。埼玉市民の会、旭ダイヤ労組の発言が続き、シュプレヒコールで志木駅へ。

〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からヤンソンモさんが「サンケン電気は利益追求だけ考えて、労働者のことは何も考えなかった。名ばかり社長を前面に立て、重要なことは本社が全て決定してきた。日本の営業所の閉鎖には雇用確保も含めて事前に相談していると聞いている。ところが韓国では事前の話し合いが全くない。闘いが始まってから648日過ぎたが、本社は『韓国のことは韓国で』と終始している。私たちの要求は『話し合い

で問題解決しよう』という点だけだ。市民のみなさん！サンケン電気に労組との



話し合いに応じるように伝えてください！コロナの制限も解除されつつあり、終わりが見えてきた。国境の障壁もなくなる。私たちはコロナ防疫が解除されれば、サンケン電気本社に直接訴える」と決意を述べました。韓国からはキムウニョンさん、イヘンミさんもアピール。ゆいの会『朝露』、サンケン太郎さん『翼をください』、ノレの会『もう一度前へ』をそれぞれ熱唱。明大生協労組の発言で行動終了。

〔池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表の挨拶でスタート。韓国からキムヒョンガンさんが「労働者に説明もなく話し合いもなく廃業した。労使合意書は守るためにある。私たちの復職



とサンケン電気の謝罪が必要だ。契約の一方的な破棄は違法行為だ。労働者は雇用契約の解除に合意した事実はない。コロナで遠征できない機会を狙った。コロナで苦しんでいるときに解雇する、それがサンケン電気のやり方だ」と批判。埼玉市民の会、群馬合同労組、山日労、支援する会、尾澤邦子さん(写真上)、韓青同、京浜ユニオンがリレートーク。怒りのシュプレヒコールで終了。

### 尾澤裁判の初公判は夏の終わり頃？！

4月20日に公判前手続が行われ、検察・弁護双方の攻防が行われました。裁判所は8月下旬から初公判を開きたいとのこと。5月10日の逮捕からまもなく1年。尾澤さんの完全な自由は先延ばしです。次回の公判前手続は6月6日です。尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。ご協力をお願いします。支援する会まで御連絡下さい。